

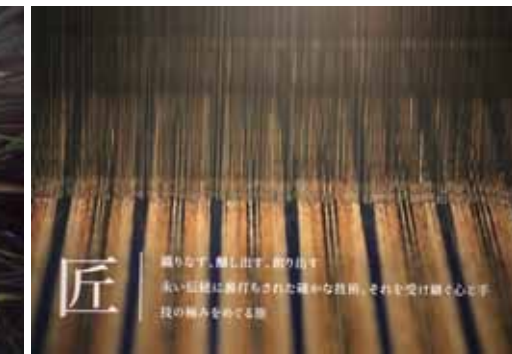
旅丹

2016.2/11-2/16

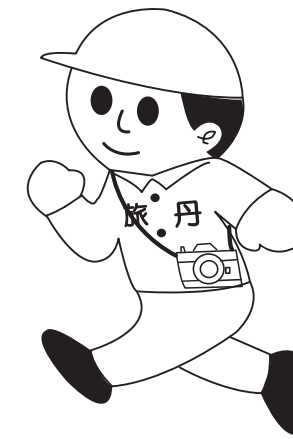
旅人が見たありのままの丹波路

前畑 洋平

前畑 温子



今回開催の展覧会《「旅丹」旅人が見たありのままの丹波路 写真展》では、「識・暮・季・穰・悠・匠」の6つのテーマに沿って展示されています。「識」では、日常生活の中での新発見・珍発見の旅。「暮」は飾ることのない日常・文化の旅。「季」は春夏秋冬の中での自然の織りなす風景に出会う旅。「穰」では恵みの大地に出会う旅。「悠」は歴史を身近に感じる旅。「匠」では永い伝統を受け継ぐ技術の極みをめぐる旅。これらのテーマには、自然と隣り合わせにある丹波が題材になっており、自然と共存し生活をする人々、そこで生まれる芸術が有ります。フィルターを通し見ることで想像が膨らみ、強調された世界は都心ではあまり出会うことが出来ない美しさに誰もが心惹かれます。展示された写真の中には微笑ましくなるような情景や、驚き、神々しさを抱くなど様々な場面に出会い、普段当たり前前に過ごしてきた日々が、今日まで作り上げられて来た伝統と日常の上に成り立つものであることを再確認させてくれるような展覧会でもあります。



写真イラスト等の保存・無断使用・転載・二次利用はお断りします



貝殻の中



虚無僧と尺八



好奇心旺盛な子ヤギ



近未来の図書館



菱の庭



酒造りは力仕事



向かい合う軽トラ



放課後の廊下



落葉 vs お坊さん



稲と雫と街の明り



朱鳥居のトンネル



最古の登り窯初めての火入れ